第９次長野県職業能力開発計画（H23～H27）の実施状況

職業能力開発の基本的施策

１　ものづくり分野・成長が期待される分野における人材育成の推進

・ものづくり分野の業務内容に応じた高度な専門知識・技能を身に付けた人材の育成
・環境・エネルギー、健康・医療等の分野で必要とされる人材の育成

２　雇用のセーフティネットとしての能力開発の推進

雇用失業情勢の変化に的確に対応するための離職者に対する公共職業訓練の実施

３　職業生涯を通じたキャリア形成支援の一層の推進

若年者に望ましい職業観・勤労観や職業に関する知識・技能を身につける取組

４　若年技能者・次世代を担う技能者の育成

若年者が進んで技能労働者を目指すような環境の整備

５　特別な支援を必要とする者に対する職業能力開発の推進

障がい者、母子家庭の母等、学卒未就職者などの特性に応じた職業訓練の実施

６　産業人材育成支援のためのインフラの充実

長野県産業人材育成支援センターの取組の充実

具体的な取り組み

【ものづくり分野における人材育成】
○在職者向け：産業人材カレッジ事業の実施
○新規学卒者向け：工科短大・技専の職業訓練の実施
○離職者向け：技専の短期職業訓練の実施

【成長が期待される分野における人材育成】
○産業人材カレッジ事業における食品分野講座の実施
○南信工科短大に電気・制御技術科（国名称：電気エネルギー制御科）を設置

○ポリテクのない地域で離職者向けの短期課程訓練を実施
○離職者等を対象に、民間教育訓練機関に委託して職業訓練を実施

○産業人材カレッジ事業の実施により、労働者の能力開発を支援
○認定職業能力開発施設による職業訓練　（補助要件の緩和等）

○長野技能五輪・ｱﾋﾞﾘﾝﾋﾟｯｸ 2012 の開催による技能レベルの向上、技能尊重機運の醸成（H24）
○高校（主に工業系）と連携した人材育成（産業人材カレッジ事業等）
○高校生（主に普通科）を対象とした信州ものづくりマイスター事業の実施
○小中学生を対象とした WAZACAN 出前講座の実施

○障がい者向け：態様に応じた多様な委託訓練
県障がい者技能競技大会
ｱﾋﾞﾘﾝﾋﾟｯｸの開催・参加支援
○母子家庭の母等向け：委託訓練（託児付訓練の新設等）
○学卒未就職者向け：ジョブ・カード作成等を通じた個別指導

○産業人材育成支援ネットワークによる連携強化
○産業人材育成支援センターの機能の充実
・信州ものづくりマイスター事業の実施（H23～）
・産業人材カレッジ事業の拡充

工科短大・技専校の方向

１　工科短大のあり方

・企業ニーズに応じた柔軟なカリキュラム、学生の質の保証、ブランド化を目指した取り組み
・施設設備の充実による実践技術者の育成
・南信地域への工科短大機能の配置

２　技専校のあり方

・見直しのため、企業ニーズ等の把握・反映の仕組み構築
・ものづくり分野を中心とした技能者育成の継続
・省エネ機器、次世代自動車、医療機器などの専門分野の知識・技能を有する人材の育成
・ポリテクの動向を注視し、訓練内容の見直し
・指定管理者制度導入について、調査研究の上、検討

３　今後の方向

・拠点校とサテライト校の役割分担を基本に県全体の職業能力開発のあり方を検討
・具体的指標による検証を行い、実施体制を見直す。
・指導員資質向上、指導技法継承体制の整備と老朽化施設更新
・工科短大・技専校の認知度を高める。

４　見直しの進め方

すぐできる見直しと調整期間が必要な見直しの二段階で実施する。

具体的な取り組み

○企業ニーズ調査を踏まえ、生産技術科における製図の強化などカリキュラムを編成（H25 規則改正）
○優先順位に基づく計画的な機器更新の実施
特に、H25 には地域の元気臨時交付金を活用し、機器更新を実施
○・H26.1「長野県南信工科短期大学校設置概要」決定
・H28.4 南信工科短大開校に向け準備中

○校長や指導員等の積極的な地域企業訪問によるニーズの把握
○機械系や建築系の科目を中心とした訓練の実施
○次世代自動車：ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ自動車・電気自動車の講習
○ポリテク訓練は国（高障求機構）が引き続き実施
○指定管理者制度の導入はセーフティネット機能の維持と受入機関確保の両面から困難
他県で同制度を導入したのは大阪府の事務系訓練科１科のみ（導入しない理由：授業料が増額となる恐れがある、受入機関がない等）

○・拠点校：広いエリアとニーズに応じた訓練を実施
・ｻﾃﾗｲﾄ校：地域特性に応じた訓練を実施
○応募・入校・修了等の状況による定員の見直し等を実施（４に記載）
○社会人採用による指導経験のある職員の補充と優先順位に基づく計画的な機器更新の実施
特に、H25、26 には地域の元気臨時交付金を活用し、機器更新を実施（実績：411 百万円）
○・高校・ハローワークの訪問や、校開放・地域イベントへの出展などによる PR
・ﾌﾘｰﾍﾟｰﾊﾟｰ、県広報や市町村広報などへの広告掲載

【訓練定員】・工短 H23：160 人　⇒　H28：200 人
・技専 H23：570 人　⇒　H28：395 人

○工科短大：南信工短設置 H28：40 人、H29：80 人
○長野技専：画像処理印刷科定員減　△５人
○松本技専：電気建築設備科へのコース統合　△20 人
○伊那技専：南信工科短大設置に伴い廃止予定△100 人
○佐久技専：生産技術システム科へのコース統合
短期課程改変（３科⇒１科）△50 人